

かけはし

No.75

2011/11



政府の辺野古移設強行姿勢

9月定例議会

知事の「県外移設」は 本当に不動の主張か

9月定例県議会は9月17日から10月14日まで開催され、サキ山議員は社民・護憲会派の代表質問に立ち12項目にわたり、県当局を質した。

真っ先に今沖縄の将来に関わる普天間基地移設問題で、知事の「県外」移設主張の本気度を追求。野田首相が日米同盟の深化・発展を強調し、防衛大臣、外務大臣、など次々と閣僚を沖縄へ送り込み、辺野古移設の強行姿勢を示している中、知事は「最後まで県外を貫き通す覚悟はあるか」と鋭く突っ込んだ。知事は「無論、県外を言い続ける」と答弁した。

代表質問ではその他、八重山教科書問題、カジノ構想、農業、漁業、幼稚園の課題についても取り上げ、県当局を質した。(発言要旨は2～3面)



知事に問う。
「県外」を貫く
覚悟があるか。

代表質問に立つサキ山議員。知事に強く迫る。

海底(うみぞら)トンネルが開通

那覇港湾 議会議員長 サキ山議員、テープカットに感慨ひとしお



港湾議会議員長として役目をかみしめる。



開通式典 (サキ山議員は左から2人目)

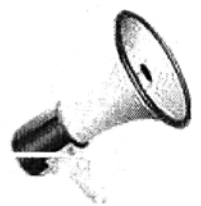
去る8月28日、那覇港湾に位置し、那覇空港と若狭を結ぶ海底トンネルが開通した。全長1,140m、港湾物流の効率化と渋滞緩和が期待される。那覇港湾議会議員長として式典へ出席したサキ山議員は、莫大な投資額であり、役割をしっかりと果たすよう港湾議会としてもさらに頑張りたいと強調していた。

普天間移設
問題

八重山
教科書問題

許すな、基地と沖縄振興のリンク論 9月8日の全員協議は有効

活発な街頭行動で県民へアピール



9月沖縄定例県議会で代表質問に立ったサキ山議員は、特に普天間基地移設問題や八重山教科書問題など平和問題を中心に据え、知事の政治姿勢を追求した。また、街頭行動で県民へのアピールを行うなど、議会外の活動を活発に行った。

知事訪米の成果は

◇質 問①：9月の知事訪米は普天間基地の県外移設に転換してから初めての行動であり、日米合意は、県民の頭越しであることを十分に訴える機会にできたか。

* 知事答弁：マケイン上院議員と面談し、各議員が辺野古は困難で見直しが必要との見解が示された。

基地と沖縄振興の リンク論は

* 又吉知事公室長答弁：沖縄振興と基地問題は別であると考え、一日も早い県外移設を求めていく。

八重山教科書問題

◇質 問①：公民教科書を巡って混乱が続いている。教育長



教科書問題で県民へ正しい教科書採択を訴える

は9月8日の協議で、同一の教科書採択が行われたとの見解を述べているが、教育長はこの協議が有効だと認識しているか。

* 大城教育長答弁：9月8日の教育委員会による協議は、事務権限に基づき公開の場で開催され、同一教科書が採択されたことと認識している。

◇質 問②：なぜ八重山はこのような事態になっているか。公正、公平、情報公開の観点から問題はなかったか。

* 大城教育長答弁：拙速すぎる規約の改正、協議会の運営のあり方、手法に地域住民から疑義が出ている。

対馬丸記念館への助成を

◇質 問：学童疎開船対馬丸記念館が財政難に陥っており、戦争体験を後世に伝える平和の記念館への運営費の補助支援は必要である。

*宮里保健部長答弁：国が「語り部、特別展示事業」「遺族相談事業」を実施している。

幼小連携について

◇質 問：幼稚園と保育所の一体化の概要と進捗を伺う。

*大城教育長答弁：保護者の



TPP 反対県民決起集会

負担軽減、幼児教育の充実、小学校との円滑な接続を目指した新たな振興策の中で提案し、沖縄型幼稚園の実現に取り組み。沖縄幼児教育振興アクションプログラムを通し、市町村新規採用の拡大と、職員の待遇改善を促した。

農林水産業の振興

◇質 問：農業産出額、漁業生産額の目標値や生産流通基盤の整備状況について

*宮里保健部長答弁：農業生産額は892億であり、沖縄プ



2009年1月11日震災に関する要請

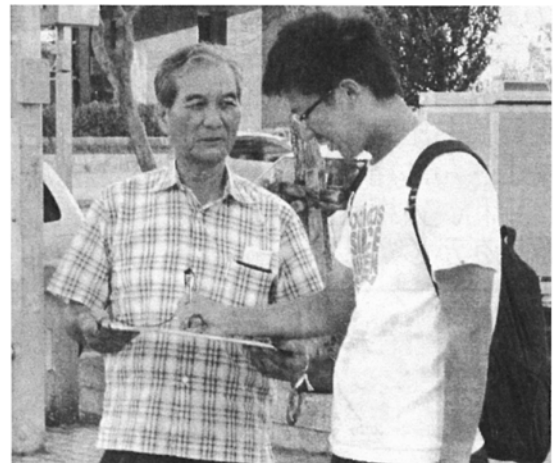
ランドの確立と生産供給体制を強化していく。また、ゴーヤー等の園芸作物の施設整備を図る。漁業生産額は157億であり、モズク、海ぶどう、車エビ等の養殖技術を高め、品種開発や国内外の需要拡大を図る。

沖縄学生会館の改築

*大城教育長答弁：沖縄学生寮検討会議では、改築は困難であると結論づけた。首都圏へ進学する学生に対し、南灯寮、冲英寮での対応と奨学金による支援をしていく。



2008年9月6日港湾議長として臨海道路開通式典



街頭での署名活動を行うサキ山議員

仕事の奮闘記



★那覇大綱挽にハイヤー

10・10空襲で廃墟と化した那覇の復興を目指す那覇大綱挽が10月9日久茂地交差点で開かれ、27万余の人々で賑わった。サキ山さんは県議として招待を受け、本部席で観戦したが、カヌチ隊で協力した市職労の仲間を激励。



脱原発、平和、人権
女性の集い

8月17日高教組会館で脱原発、平和、人権の学習会を開催した。沢山集った女性達から沖縄の基地強化や小型原発の開発の動きなど沖縄の現状と問題点出された。



★吉元政矩(元副知事)を招き沖縄振興の学習会

サキ山議員が主宰する「県政学習会」が8月19日吉元政矩氏(元副知事)を招いて開かれ、今県政の大きな課題の一つである新しい沖縄振興計画について学んだ。吉元氏は沖縄自立のための新しい制度、枠組みを作るのはビジョンが重要だと力説し、参加者に感銘を与えていた。



★台風で砂巻き上げ被害

金武町伊芸の海浜公園の砂が台風12号の影響で散策道や住宅、田んぼに巻き上げられる被害にあった。相談を受けたサキ山さんは、市役所時代の先輩津嘉山さんの案内で10月に現地調査し対応。県は早速工事を実施している。



全港湾労組と意見交換

サキ山さんは、全港湾大城委員長はじめ、役員の皆さんと、沖縄セメント労の争議について意見交換を行った。



労働者福祉の集い

8月職員の方の福利厚生の方の集いに参加、健康、災害、保険の労働者福祉を充実させよう。

地域の声を共有しよう！

かけはし

号外

2012/3



3月定例議会、サキ山県議県当局を追求

3月議会では、普天間基地固定化阻止、識名トンネルの虚偽契約問題、沖縄水産と南部工業の高校統廃合反対、古島団地再開発問題、離島振興、都市モノレールの延伸と路線バスとの結節システムの構築を質問し、県の姿勢を質しました。

私の政治信条は、「県民第一、生活優先」を基本として、消費税率の増に断固反対、TPP参加反対、基地の機能強化反対し、雇用促進、平和・教育・福祉の増進を図っていきます。これからも、県民視点での県政チェックを行い、すべての人に、行政の恩恵があるように、議会活動を行っていきます。

県民第一・生活優先の政治をめざします。



米軍流弾事件への抗議 1



←真和志地域の要望を実現

真和志三原に住む新垣さんの陳情で、道路とマンホールの段差を確認するサキ山議員(新年度にに修繕予定) これまでも、県や市に働きかけを行い、数々の陳情を解決し、「さすが、サキ山さん」と、地域から喜ばれています。

首里汀良町からの

モノレール延伸を→

モノレールを延伸し、交通渋滞を解消策として、公共バス交通との結節を促進し、地域住民の利便性を高める取り組みを県議会で発言。



米軍流弾事件への抗議 2



平和の創造を語る大田昌秀(元県知事)から激励うけるサキ山県議。

(大田平和総合研究所にて)

かけはし

号外

2012/4



水産業振興にも積極的な提言と質問を行うサキ山さん。

頑張っています!

高校編成整備計画を止めよう。

沖水の伝統・実績を活かせ

水産振興策を積極提言

3月議会



県議会議長に陳情したサキ山さんをはじめ、水産同志生の面々。中央が高嶺議長。

創水産も資源大事の



県の水産事業に関心の高いサキ山さん。獲る漁業から作る漁業を実践する本部の栽培漁業センターで養殖漁業の現状を視察。職員から事業の説明を受け、漁業の振興には水産資源の創出も大事だと痛感しました。

「沖水」の存続求め、議長に陳情

県教育庁が計画する県立高校編成整備計画で、サキ山さんの母校、沖水が統合されて名称や学科が消えようとする事態を受け、沖水の同窓会とともに「高校編成計画に異議あり」と高嶺議長に陳情しました。



転落事故を繰り返さないように地域活動

昨年の国場川の痛ましい子供の転落事故。サキ山さんは事故を二度と繰り返さないよう防護策の早急な設置を県に要請。マスコミでも取り上げられました。



職名トンネル工事 地盤沈下も問題に

職名トンネル工事の偽装契約問題で5億8千万円の税金を無駄使いした県当局の責任を追及しているサキ山さん。今度はこのトンネル工事の影響による地盤沈下問題が発生。職名在住の平良忠誠さんに案内されて、現地調査。県議会の土木環境委員会で、県当局に地盤沈下の解決を図ることを約束させました。

